

# 高妻山(2353m):長い上りの辛さの後にアルプスの大展望

齊藤 整紀

●2018年6月16日(土)~17日(日)

●メンバー 村山隆(CL)、齊藤整紀

●コースタイム

16日(土)曇り/雨

葛西(車)10:00⇒戸隠神社奥社参拝(安全祈願)

15:00~16:00⇒16:30 宿坊国民宿舎旅館横倉(泊)

葛西を10時、村山車で出発。曇りがちな天気、時折、車窓を濡らす雨も。好天ならば、関東平野を北上するに連れて見えるはずの山々も一切望めず、浅間も妙義も雲の中で士気が上がらない。ところが碓氷峠を過ぎると空は明るくなり、雲も薄い。しかし青空はない。やや明るい長野の町を過ぎ、戸隠神社へ向かって山道を登るに連れて、また雲行きが怪しくなってきた。宿に入る前に参拝した戸隠神社奥社への2kmの参道を登る途中から、ついに雨が降り始めた。戸隠山登山口を左に見て、石段を登り切ると奥社社殿に至る。ひとまず旅の無事を願い、車へ戻る。

立派な杉の大木が連なる参道は、帰りもお参りに行き交う人が多い。駐車場から15分くらいで中社へ戻り、そこから中社鳥居と反対側に5分程入ると、ちょっと古ぼけた建物が今夜の宿坊・国民宿舎 旅館横倉である。

17日(日) 快晴

宿5:00(車)⇒6:15 戸隠キャンプ場P 6:30→一不動避難小屋(朝食)8:30~8:50→五地藏山10:00→高妻山11:50~12:30→六弥勒14:20→(弥勒尾根)→戸隠牧場16:00・神告げ温泉(入浴)横大門・戸隠そば⇒17:50(車)⇒0:00 葛西

朝5時に宿を出て、戸隠キャンプ場の駐車場へ向かう。100台の無料駐車場が5時15分でほぼ満車。ぎりぎり出入口で1台分通れるスペースを空けて駐車。取りあえず、身支度を整えて出発。

目の前に朝日を浴びた戸隠山が眩しい。前回、戸隠山へ登ったのは紅葉、真っ只中の時期で、燃えるような紅葉が岩肌にマッチしていたが、今日は鮮やかな緑が美しい。当時、戸隠山から下山に使った沢ルートを、今回は逆に上る。まず牧場の径を、牛を避けて進む。樹林帯の中、何度か渡渉を繰り返しながら高度を上げていく。最初の難関が舐め滝の鎖場であるが、先に下った時は水を被り、手強い印象があったが、今回は上りで、しかも水が少ないことが幸いし、難なく上ることができた。次のトラバースの長い鎖場も問題なかった。最後に急登を詰めると尾根上の一不動避難小屋に着く。ちょうど2時間かかった。



手前に飯縄山、左手に黒姫山、正面に八ヶ岳、遠く富士山、南アルプスも。また西奥に槍・穂高もバッチリ! 展望を楽しみながら、ゆっくり朝食を戴く。



次は稜線上の五地藏山を目指す。痩せたアップダウンの稜線は南面が鋭く落ち込み、戸隠山同様である。樹間から高妻山、更に北アルプスや妙高・火打も望む。

五地藏を過ぎると、稜線が尾根筋に変わる。直角に北向きに転じ、樹林が低灌木に変化し、展望が効くようになり、何より高妻山が眼前に大きく迫る。



北アルプスは後立山連峰で、鹿島槍から白馬三山の雪のサシが素晴らしい。高妻本峰は見えても中々近づかない。八観音から九勢至辺りはハクサンフウコの群生地であるが、地図に「6月中旬」とあるにも拘わらず、既に盛りは過ぎて、花は疎らである。



いよいよ本峰への上りは、予想以上に、長い悪路の急登に苦しむ。多くの人が山に入っているため、上り、下りの交錯にも時間がかかる。遂に昼前に山頂に到着。真っ青な空に後立山連峰が映え、槍・穂高、妙高、火打、焼山が近い。



遠くの富士・南アの展望を楽しみながら、のんびり昼食を摂っていたが、山頂が狭いため、適当に切り上げ、下山に入る。焼けた体に午後の日差しが厳しく、とにかく暑い！下山が進むにつれて虫も出てきた。今回は帽子の上からネットを被ったが、耳の部分がへたって、虫が付くため痒い！

尾根道が六弥勒に差し掛かった所で、左手に折れて、弥勒尾根を下る。黒姫山を真向いに見て、竹を払った草丈の低い斜面の径を下りる。



やがて樹林帯に入り、涼しくなるが、湿った木の根が滑り易く、第一、虫が酷い。緊張が続き、疲れた頃に、林相がブナ林に変わる。「牧場まで40分」の標識が現れる辺りから、径が安心して歩けるようになる。しかし、虫だけは相変わらずしつこい。牧場が夕方の日差しに変わり、家畜が目覚める前の朝の緊張した空気から、弛緩した気だるい空気になっている。16時に駐車場に戻った。ほとんどの車が帰っている。9時間30分を要し、45,000歩の長駆であった。取りあえず、戸隠神社中社へ戻り、「戸隠神告げ温泉」に入ってから戸隠そばが食べられる店を探した。行列のできる「うずら家」は既に終わっているようで、温泉の情報では、「一般には16時までが多く、そばがなくなり次第終了の所も。『戸隠そば』はもうムリ！」とのこと。しかし、温泉を出て、念の為、「横大門」の看板で聞いたところ、まだOKとのこと。ラッキー！お蔭で、美味しいそばを戴くことができた。葛西には深夜到着。

百名山96座目は、目白山岳会総会前の繁忙期であったが、何とか日程をやりくりして達成できたことは嬉しい。村山さんに感謝！（了）